

# ★ 元 村 中 央 自 治 会 ★



思い起こせば岩手国体が開催された昭和 45 年、元村南として発足、その後、昭和 50 年 4 月に元村南を元村中央と元村南に分割、平成元年には元村北を元村東、元村北、元村西に 3 分割し、さらに平成 7 年元村中央が法誓寺自治会を分割、平成 8 年に元村南が国分自治会を分割、平成 10 年に元村北からあすみ野自治会が分割、さらに平成 16 年には元村南が室小路自治会を分割し、発足当時の元村 2 自治会は現在 9 単位自治会となり、人口が増加して分割が進んでも一体的地域として共通点も多いことから元村地域連絡協議会を組織して活動しております。

現在、元村中央自治会は 1,700 世帯が会員となっており、地域の字名は牧野林、穴口、土沢、黒沢、平蔵沢、外山、高屋敷、室小路、鶉飼の中で細谷地、鬼越となっておりますが、これらを牧野林、土沢、ゆとりが丘北、ゆとりが丘南、石が森、黒沢、もりおか団地、平蔵沢、あさひが丘、それに平成 22 年からせいほくタウンが加わり、現在は 10 ブロックに編成し、各ブロックに理事制を導入、班長が 110 名、回覧数は 155 と大規模自治会となり、元村中央自治会として結成されてから、37 年になろうとしております。

また、3 か所の各地区公民館長も役員となり、自治会活動と公民館活動の協力関係が保たれております。

本自治会の役員構成は会長、副会長 3、事務局長、事務局次長、会計、総務部、体育部、生活環境部、防犯交通安全部、福祉部、地区担当員、理事、公民館長、監事、顧問となっており、通常の自治会活動は各部ごとに連携し合い、地区担当員、理事による各地区との連絡体制や情報を活用しながら、活動を行っております。

また、平成 18 年から元村中央自治会自主防災会を立ち上げ、自主的な防災活動を行うことにより、地震、風水害その他の災害による被害の防止及び軽減を図り、安全確保に当ることとしております。

具体的には、毎年、地域を限定しての自主防災訓練の実施、災害対策用備品の購入と災害対策庫の設置等、毎年、防災関連事業として予算化し、取り組んでおります。

将来とも元村中央自治会の目指すところは、豊かな自然環境を生かした地域づくりで自然景観や清雅な流れ、貴重な歴史的遺産を守りながら、最近増加している新興団地等の新しく会員となられた人達との家族ぐるみの交流、また、これら地域の特色を生かし、自治会全体の融和と協力関係の推進を図りながら「地域は、地域のみんなでつくる」を合言葉に、住民が「生き甲斐が持てる充実した生活環境の実現」めざし、取り組んで行く事といたしております。

以下、主な事業及び活動状況をご紹介します。

## 本部

- ・毎月1回の役員会、四役会議、各種行事の実行委員会等の開催
- ・新旧班長研修会及び定期総会開催（参加者 120名）
- ・夏まつり（東自治会と合同開催）（参加者 380名）
- ・賛助会員募集の取り組み（H23実績 39事業所 215,535円）
- ・「敬老 感謝の集い」（参加者 130名）
- ・自主防災訓練（H23までに4回実施）
- ・新年交賀会（参加者 50名）
- ・会計監査

## ◎総務部

総務部は平成15年4月よりスタートし、本部事務局と連携した活動が主体となります。「自治会だより」の発行に向け、各種自治会活動の写真撮影、取材、記録も総務部の活動の一端となっております。

## ◎体育部

体育部では、自治会内の子供たちと地域の方々との世代間交流を図る行事を計画し、次世代を担う子供たちを地域で育てて行きたいと思っております。毎年6月に体育行事の詳しい年間スケジュールを各戸配布し、ご家族での参加を呼びかけております。

## ◎生活環境部

生活環境部は自然を愛護し、生活環境の維持整備を目的に「花いっぱい運動」「環境美化運動」「ごみ集積所の補修」などを中心とした活動を展開しております。

## ◎防犯交通安全部

防犯交通安全部は①防犯交通安全運動の推進②防犯交通安全協会への参加を活動方針に掲げ活動しています。春、秋の全国交通安全運動や夏、冬の交通安全県民運動に参加しております。

## ◎福祉部

福祉部は高齢者、障害者、幼児の扶助を図り、福祉・厚生に関する研修会等を通じ、社会参加と地域の連対抗上を目指し、且つ村の健康診断の受診率向上を高めるための活動を行っています。活動は、地区運動普及推進員、保健推進員、食生活改善推進員、地区民生児童委員の方々の協力の下で進めております。